



2003年07月24日

## VGJによるフォルクスワーゲンの累計輸入台数が50万台を突破 充実したインポートセンター業務でお客様の信頼に応える

7月23日(水)、フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社(略称:VGJ、代表取締役社長:梅野 勉、本社:愛知県豊橋市)は、同社として1992年10月の輸入開始以来、累計で50万台目となるフォルクスワーゲン車を陸揚げ(輸入)しました。この記念すべき50万台目となったフォルクスワーゲンは、メキシコから到着した自動車専用運搬船「European Highway」号に積載されていた、ハーベストムーンのニュービートル カブリオレでした。

1990年4月VGJ(当時はフォルクスワーゲン アウディ日本株式会社、以下:VA日本)は、愛知県豊橋市の三河湾に面した明海埠頭周辺に、総敷地面積約250,000㎡におよぶ広大な用地を取得。インポートセンターを建設しました。1992年10月には、すべての施設(当時)が竣工し、輸入卸業務も本格化。その後、事業の拡大と共に年々インポートセンターとしての規模を拡大していき、現在では、当初の約1.5倍となる総敷地面積約370,000㎡を有する、輸入車業界では最大規模のインポートセンターとなっています。

今年は、1953年にVWが日本に初めて上陸してから50年目にあたり、日本におけるフォルクスワーゲンの活動も高級車セグメントへの進出を始めた記念すべき年でもあります。同社では、フルラインアップメーカーとして、あらゆるお客様に全てのセグメントにおいて「Best in Class」なフォルクスワーゲンをお届けできるよう、2000年秋から「ブランド変革」を進めて参りました。特に今年は、その「ブランド変革」の具現化であるフォルクスワーゲン初の高級SUV「トゥアレグ」を7月に導入するなど、積極的な活動を行っています。

VGJが輸入を開始した時系列の累計陸揚げ(輸入)台数の変遷は下記のとおりです。

### VGJのフォルクスワーゲン輸入に関する歴史

年	月	主な出来事と10万台単位の陸揚げ(輸入)年月日
1989年	8月	フォルクスワーゲン アウディ 日本株式会社設立。実質的なVWの輸入販売を開始
1991年	4月	愛知県豊橋市に臨時新車整備センターを竣工、稼働開始
		VA日本として初のVW車を積載した第1船が豊橋港に到着(積載台数138台)
1992年	5月	本社を東京都港区から愛知県豊橋市に移転。10月 インポートセンター完成
1993年	1月	VW車の輸入権がVA日本へ一本化される。インポートセンター本格稼働開始
1996年	1月	VGJ フォルクスワーゲン車 豊橋陸揚げ10万台を達成
2000年	4月	VGJ フォルクスワーゲン車 豊橋陸揚げ30万台を達成
2003年	7月	VGJ フォルクスワーゲン車 豊橋陸揚げ50万台を達成